

## ■ 支部だより ■



## 関東甲信静支部だより

支部長 寺部 本次

関東甲信静支部は、京浜、京葉、鹿島などの臨海工業地帯を含む関東各都県・二市と、山梨、長野、静岡の三県、合計13の研究機関から成りたっている。

海岸地域と内陸部における環境事情は、それぞれ異なっているが、お互の地域特性を生かしながら、山積している諸問題に対して連繫を密にして積極的に取り組んでいる。

なお、当支部の役員は次のとおりである。

支部長	寺部本次	(川崎市)
理事	清水方平	(長野県)
理事	天野隆生	(静岡県)

## 1. 支部会議の状況

開催日：昭和56年9月3、4日

場 所：長野県埴科郡

地共済保養所 名月荘

関係機関の所長をはじめ、30名の関係者が出席して開催された。

支部長より、55・56年度の支部運営および事業報告、常任理事会の経過報告などがあり、次いで専門部会長による各専門部会の活動状況が報告された。

## 2. 専門部会の状況

## 1) 大気専門部会

開催日：56年6月18・19日

場 所：千葉県館山市 静海荘

各機関より、33名の出席者を得て開催された大気専門部会は、第一日目は、環境・発生源関係の第一分科会と悪臭関係の第二分科会に分かれ、各々の分科会で各機関より提出された議題について熱心に討議された。

第二日目は、東京都公害研究所 石黒大気部長による「悪臭公害の現在の課題」というテーマで特別講演があり、さらに分科会において討議された議題のまとめ、部会の運営方法などについて話し合が行われ、二日間の日程を終えた。

## 2) 騒音振動専門部会

開催日：昭和56年7月9・10日

場 所：横浜市中区 横浜郵便貯金会館

関係機関職員30名の出席によって開催された部会は、各機関より提出された10議題について活発な討論が行われた。

提出された議題は、自動車の騒音振動に関するもの4題、低周波空気振動に関するもの6題であった。

第二日目は、日本鋼管京浜製鉄所の施設を見学し、午後解散した。

## 3) 水質専門部会

開催日：昭和56年11月12・13日

場 所：川崎市高津区

川崎市民プラザ

12機関、35名の関係職員が出席して開催された専門部会は、水環境の富栄養化に関するもの、分析法に関するものおよびその他の議題に分けられ、各機関より提出された13の議題について熱心に討議された。

第二日目は、日本鋼管京浜製鉄所および京浜コンビナート地帯を見学し、午後川崎駅前で解散した。

なお、支部主催の行事ではないが、神奈川公害センター、横浜市・川崎市公害研究所の三者では、52年4月に協議会を作り毎年6月、環境週間行事の一環として「公害研究合同発表会」を開催している。

これは、官公庁関係者はもとより県内企業の公害防止担当者、一般県民関係者を対象に、日ごろ行っている研究成果の一端を発表し、環境保全と公害防止に貢献している。